

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                   |            |             |
|---------|-------------------|------------|-------------|
| 事業所番号   | 2171000488        |            |             |
| 法人名     | 医療法人社団 福寿会        |            |             |
| 事業所名    | コスモス苑「夕焼け小焼け」     |            |             |
| 所在地     | 岐阜県郡上市白鳥町白鳥405番地1 |            |             |
| 自己評価作成日 | 平成29年7月31日        | 評価結果市町村受理日 | 平成29年10月13日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kan=true&amp;JigyosyoCd=2171000488-00&amp;PrefCd=21&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kan=true&amp;JigyosyoCd=2171000488-00&amp;PrefCd=21&amp;VersionCd=022</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと |
| 所在地   | 岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル           |
| 訪問調査日 | 平成29年8月23日                       |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

白鳥町の中心部に近い住宅街という環境の中で、地域の方との交流を深めながら、その地域の一員としての意識を持ってもらい、また、日々の生活の中で生き甲斐を持ってもらうことで楽しく心安らかに生活していただける空間づくりを提供出来るように取り組んでいる。  
医療法人社団 福寿会として、グループホームの他に小規模多機能型居宅介護、特定施設生活介護、短期入所生活介護、さらに居宅介護支援など、各それぞれの施設と連携を取りながら、利用者様やご家族の方の希望に沿った、個々の思いに適した総合的なサービスを行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の母体は医療法人社団福寿会の石井医院である。法人は、グループホームを含め、複数の福祉事業を運営し、地域福祉の中核を担っている。住民は、身体状況に応じた、様々な福祉サービスを選択することができ、法人に対する信頼も厚い。自治体や地域住民から、講師の依頼を受けることも多く、高齢者福祉の現状や、認知症の理解と対応などで講演を行っている。管理者と職員は、地域と交流を深めながら、地域貢献のできる体制を築き、利用者が住みなれた地域と関わり続け、生きがいを持って、心穏やかな生活が送れるよう支援を行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当する項目に○印   |
|---|---|--|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○ 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○ 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○ 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている<br>(参考項目:30,31)       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○ 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |  |   |

自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|--------------------|-----|---|--|---|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |   |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 「見守ります。見逃しません。笑顔を引き出します。」の理念を共有し、利用者様が笑顔で穏やかに生活できるように実践している。さらに、個々を尊重したニーズを求められ、それに答えていきたいと思う。     | 管理者・職員は、理念に基づいた実践を、朝礼や職員会議で振り返り、共有をしている。利用者が、住みなれた地域と関わりながら、穏やかで、笑顔のある生活が送れるように支援をしている。                           |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 美容院や買い物などに行っている他に、地域の小・中学生のボランティアや高校生の職場体験の受け入れ、地域の方のボランティアの受け入れ、また、駐車場を開放しての盆踊りなど、地域の方々との交流をしている。 | 日用品や食材などは、地元の店から調達している。利用者は職員と共に、買い物をしたり、美容院も地元を利用し、地域住民と交流をしている。小中高生の職場体験や地域のボランティアも受け入れ、住民の介護相談も受けている。          |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 勉強会や研修などに参加している。また、研修等の講師としてグループホームの実践経験をいかしている職員もいる。この知識を地域の方より相談があれば、説明して理解をいただけるよう対応している。       |   |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 地域の自治会の方やご家族、市役所職員、介護職員等の運営推進会議を行い、話し合いの結果をケア会議で職員全員が話し合い、良いサービスを行なえるように努めている。                     | 運営推進会議は、複数の事業所合同で開催し、責任者および利用者家族代表も、多数出席している。事業所の現状を報告し、今後の計画などで意見を交わしている。運営推進会議を兼ねた火災訓練は、参加者からの提案と助言を得て、実施をしている。 |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 毎月介護相談員の方が来苑され、利用者様の思いや職員の話などを聞いてもらい、包括支援センターや高齢福祉課等との情報を共有してサービスの向上に取り組んでいる。                      | 運営推進会議には、行政担当者の参加を得、介護保険の動向や法律改正などの情報を得ている。行政主催の研修会、交流会にも参加をしている。また、講師の依頼を受けたり、日常的に連携を取っている。                      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束防止のビデオを見たりしての勉強会に参加している。常に利用者様に寄り添い、安全を第一に考えながらご家族と相談し、利用者様の為の介護に取り組んでいる。                      | 身体拘束防止のため、研修会を行い、拘束をしないケアに取り組んでいる。止むを得ず拘束が必要な人には、最小限の抑制に留めている。言葉の拘束についても、職員間で共有し、不穏を招かないよう利用者本位のケアに取り組んでいる。       |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 虐待防止の研修会参加した人は、苑全体の勉強会を開き、全職員が知識を学ぶ機会を設けている。職員は利用者様の立場になって安心して生活していただけるように努めている。                   |   |                   |

岐阜県 コスモス苑「夕焼け小焼け」

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 後見人制度を利用されていた方が過去に入所してみえたので、今後このような知識が必要になってくると思うので、勉強会等があれば参加したい。          |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 入所時にケアマネより、十分な説明をしている。また、契約時は、施設見学などしていただき、納得と安心をしていただけるように説明して理解していただいている。 |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 運営に関してご家族の方々が話しやすい雰囲気をつくり、家族会や面会等で要望を伺い、意見が表明できるよう努めている。                    | 家族には、ホーム便りを隔月に送り、職員手書きの報告書も個別に添えている。また、家族の訪問時や家族会の場でも、意見交換を行っている。意見や要望等は、出来る事から速やかに運営に反映させている。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 現場の声を聞くという姿勢がこれまでのスタイルなので、人と人との関係性を重視し、スタッフの声を反映している。                       | 苑長や管理者は、職員との信頼関係も厚く、提案や意見を気軽に聞いている。職員の声を反映させる体制と実績があり、働きがいのある職場環境を築いている。職員の定着率も高い。             |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 研修等参加窓等の参加が出来る機会があり、職員の向上心をもって働けるような職場環境である。                                |  |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 研修や資格取得の情報を常に職員に提供し、サポートをしている。  |  |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 勉強会や同業者との交流のための講演会などの参加をして、それぞれの交流につなぎ、サービス向上に取り組んでいる。                      |  |                   |

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|-----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
|                             |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |   |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 出来る限りの情報収集に努め、ご家族様のニーズに沿うようにしている。また、本人様が困っていることや、不安なことなど日常会話の中で聞きだし、安心して生活していただけるように努力している。               |   |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入所時はなるべく家族様に訪問していただき、お互いに信頼関係ができるように努めている。ご家族様には明るく挨拶し、困っていること、不安なことは耳を傾け対応している。                          |   |                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 入所時にお話を伺うことで何が必要か考え対応している。また、その時の状況を見て、サービスを提供している。   |   |                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 介護は支え合いであるので、互いに人と人とのつながりを確認していくものだと考え実行している。人生の先輩として上から目線にならないように、言葉使いには気をつけながら共に作業してよい関係を作っている。         |   |                   |
| 19                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 毎月ご家族にお便りを出して、本人様の苑での生活状況をお知らせしている。又、家族様の協力でケアできることもあり、連絡を取り合い、時には外出、外泊等のサービスを利用していただき、家族の絆を後押しするようにしている。 |   |                   |
| 20                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 馴染みの美容院を利用したり、親族や知人の方が面会にみえたら、次回も苑に来て頂けるように働きかけをしている。   | 同じ敷地内に、複数の福祉施設があり、利用者が互いに訪問し合い、馴染みの関係を継続している。事業所が運営する「コスモスカフェ」も交流の場である。また、様々な行事を通じて、途切れない関係づくりに努めている。 |                   |
| 21                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | フロアで利用者様同士と一緒に過ごしていただき、良い関係を持てるようにしている。時にはほほえましく、時には認知症の状態のトラブルがある場合にも、職員が間に入り円滑な関係を作っている。                |   |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院等により退所された利用者様やご家族の方に対しても以前と同じように声かけをし、変わらぬ関係を保っている。また、入院された方は、見舞いに行き、ご家族様に対しても相談、支援に努めている。 |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日々の生活の中で一人ひとりに話を聞き、利用者様の思いを把握するように努めている。日常会話の様子から、察してご本人の思いを汲み取るようにしている。                     | 日々の生活の中で、思いや意向を把握している。それらを「意向シート」に記入し、職員全体で共有しながら、利用者の思いに沿った暮らし方に活かしている。困難な人は、表情から察したり、入浴介助の場面等で本音を聴き、思いを汲み取るよう努めている。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | これまでの生活環境などの情報をもとに本人からもお話を聞き、把握するように努めている。また、家族様との信頼関係やご本人様とのコミュニケーションはとても大切にしている。           |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 看護職員が常に隣接している医院と連携をとり、利用者様の健康状態や心身状態を把握し、全職員が申し送りやケア会議等で情報を共有して柔軟な対応をしている。                   |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご家族様の意見や医師、看護師とも連携しケアマネが介護計画を作成している。それをもとにケア会議等で職員も意見を出しながら支援している。                           | 家族とは、計画前段の個別面談で、意向を聞いている。それを踏まえ、ケア会議で担当職員と関係者で検討し、介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い、利用者の必要なニーズを検証している。                          |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 記録をすることによりケアの見直しをして、職員同士申し送りにて情報を共有している。また、ケア会議でも職員間で話し合い、見逃さないようにしている。                      |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | グループホームの枠に収まらないサービスの提供のに努めている。   |   |                   |

岐阜県 コスモス苑「夕焼け小焼け」

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |  |
|----|------|--|--|---|--|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容                          |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                     | ボランティアなど、日常に交流している。馴染みの美容院や、買い物、レジャー施設などの遠足など様々な外出支援に心がけ、利用者様が安全で楽しむ支援をしている。           |   |  |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                | 本人様や、ご家族様の希望を大切に、かかりつけ医と相談し、看護師、ケアマネ等連携して適切な医療を受けられるよう支援している。                          | 本人・家族の意思を尊重し、かかりつけ医は、個々に選択をしている。現状は、ほとんどの利用者が母体法人の医師をかかりつけ医とし、看護師である職員とも連携しながら、24時間の連絡体制を整えている。また、他の協力医療機関や歯科医師の訪問診療も受けている。 |  |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                         | 介護で気がついたことは、看護師に報告し、指示を受けている。申し送りやその都度スタッフが医院に連絡して主治医のと連携を行っている。                       |   |  |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 入院時には本人ご家族の承諾を得て基本情報や医療に関する情報提供を行っている。不明な点があれば、直接病院に行き、関係者にもお話を伺うようにしている。              |   |  |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入所時に看取り対する指針を説明し、事前確認をしている。重度化した場合、ケアマネが今後の方針を速やかに確認するようにし、その方針に向けて全職員共有しチームとして支援している。 | 家族には、重度化や終末期の方針を説明し、事前確認書を交わしている。早い段階から、医師と関係者が十分に話し合い、方針を共有している。看取りは、家族の希望を尊重し、方針に沿って支援をしている。                              |  |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | 定期的には行っていないが、マニュアルがあるので、実践に対応できるように心がけをしている。状況に合わせて医師や看護師の指示をあおぎ、対応している。               |   |  |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | 地域の方と合流の避難訓練を行っている。職員は訓練に出来るだけ参加して避難できる方法を身につけている。また、職員間での避難訓練も行っている。                  | 災害訓練は、消防署指導の下で実施をしている。法人全体で、独自な訓練にも取り組み、避難方法や器具の扱い等を行い、役割分担などを取り決めている。地域の協力体制を仰ぎながら、地域の防災訓練にも参加をしている。                       | 水害や地震を含め、種別の災害を想定した行動基準と、マニュアルの見直しに期待をしたい。 |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 職員が自分ではされては嫌なこと、言われて傷つくことは、利用者の方には言わないよう、それぞれの人に合った声かけして対応している。  | 職員は、常に利用者の人格を尊重し、その人の立場になって、誇りを損ねない言葉づかいや声かけを行っている。そして、笑顔を引き出し、穏やかでゆとりある生活を支えながら、信頼関係を築いている。                   |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 気持ちや思いを表現できるような場を作り、自己決定が出来るように支援している。日常の会話や仕草、表現等で察することが大切でその意味でのコミュニケーションや観察をする能力がとわれる。              |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりのペースを大切に、その人らしさを尊重し、希望を聞きながら日々、楽しく過ごしていただけるように支援している。   |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 衣類、髭剃り、散髪など、身だしなみに心がけその人の好みや希望に沿って支援している。また、定期的に美容院に行ったりしていただき、支援している。                                 |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 食事支援はもちろん好みや体質的なアレルギーなどにも注意して楽しみながら食事をしていただいている。また、テーブル拭き、野菜の下ごしらえなどしてもらい、食事の後は、後片付けなどしていただいている。       | 食事は、管理栄養士でもある職員と、調理専門の職員が連携して、家庭的な食事を提供している。利用者は、できる範囲で準備や片づけを手伝っている。家族にメニュー表を送付し、本人の嗜好を聴き取りながら、食欲と満足感につなげている。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 栄養士、調理師と共に日々利用者様の状態に応じて支援している。また、看護師、栄養士の指示に従い、食事量、形態を利用者様に合わせた食事を提供している。                              |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後必ず口腔ケアを習慣にして、自分のできる利用者様はやっていただいている。歯科衛生士の職員からのアドバイスを得ながら利用者様に合わせた口腔ケアを行っている。また、歯科医院の訪問による指導も実施している。 |  |                   |

岐阜県 コスモス苑「夕焼け小焼け」

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 排泄チェック表をつけて、定期的な声かけではなく、一人ひとりの状態を観察しながら、自立してトイレに行けるよう支援している。   | 昼夜共、排泄記録を参考に、声かけと誘導で、トイレでの排泄につなげている。トイレでの排泄が習慣になり、自立が継続できるように支援をしている。   |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 起床時水分をとっていただいたり、フロアを歩いていただいたり、その人に合った運動をしている。特に困難な方は排泄パターンを把握し、食事量などチェックして栄養士の支持等ももらいながら、便秘にならないよう気をつけている。 |   |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 入浴日は決まっているが、その日の利用者様の状態や希望により、気分や健康面を考えながら臨機応変に対応している。   | 入浴は、利用者の状態や希望に合わせている。職員は、入浴介助を行いながら、利用者とコミュニケーションを図っている。入浴を拒む人には、無理強いせず、タイミングを工夫している。重度者用の機械浴も備え、安心・安全な入浴を支援している。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 昼食後に一時間ほど休んでいただき、一人ひとりに合わせた生活習慣を知って、安心して寝ていただけるように支援している。  |   |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 全職員が一人ひとりの薬を理解して、また、服薬の症状の変化に注意し、看護師と連携をとり、間違えてしまわないよう常に確認し、医師に相談、指示をもらっている。                               |   |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 食事の準備、洗濯を干したり、たたんだり、一人ひとりに合った仕事をしていただいている。   |   |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気の良い日は中庭に出たり、その日の希望に沿って散歩に出かけたりしている。家族の方と協力しながら、外出支援もしていただいている。   | 日常的に、広い庭やテラスに出て外気に触れている。希望者で、散歩や買い物、喫茶店などへも出かけている。また、家族の協力を得て、馴染みの場所へ出かけたり、年間行事では、季節の花見や遠足などの外出支援を行なっている。         |                   |



岐阜県 コスモス苑「夕焼け小焼け」

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|--|---|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 基本的に、トラブル防止のため、苑で管理している。必要な場合、職員が同行し対応している。                                 |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 個人の携帯や事務所の電話など、その人に合った形で自由に電話を使っていたいでいる。                                    |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節の移り変わりが感じられる四季折々の配慮がされている。毎日掃除、整頓をして、気持ちよく過ごせるよう工夫している。トイレ等は分かりやすく標示している。 | 共用の間は、清掃と整理整頓が行き届き、衛生的で安全な空間である。窓越しに、季節の移り変わりを感知ことができ、庭の花や実のなる木を眺めながら、心地よく過ごすことができる。また、常に利用者が集まり、ゆったりと過ごす場となっている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 庭のテラスや好みの場所に座られる場所がある。気の合う同士がお話をされたり、思い思いの時間づくりをしている。                       |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 入所される時に使い慣れた家具や写真を持ってきていただき、ご家族の話を聞きながら、ご本人が安心して生活していただけるように配慮している。         | 各居室には、大きな整理棚があり、整然と分かりやすく物を並べることができ、ゆとりの空間を確保している。棚には、家族の写真や趣味の作品、使い慣れた小物など飾り、居心地よく、落ち着いて過ごせるよう工夫している。            |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 自立した生活を送ってもらう為に、建物内部は、手すりをつけたり、トイレの表示など、利用者様が混乱や不安にならないよう、工夫している。           |   |                   |